



くらしきで 暮らす



Funao・Mabi

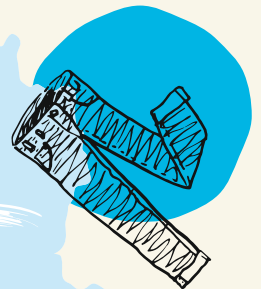


Kurashiki



Tamashima

Mizushima



Kojima



倉敷市の紹介

《人口》

約47万人

※令和6年2月末時点



《平均気温》

16.9℃

※令和5年度年間平均

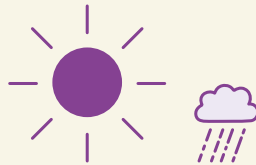


《晴れの日数が日本一》

降水量1mm未満の日数

276.7日

※1991年(平成3年)から
2020年(令和2年)の平均値(岡山県)



《地震が少ない》

岡山県内で震度4以上を観測した地震

20年間で4回

倉敷市周辺には、地震を引き起こす原因のひとつである活断層が少ないと言われています

(出典：気象庁ホームページ)



《かかりつけ医がすぐみつかる》

医療機関数

298か所

人口10万人あたりの医師の人数も、全国平均287.40に対し倉敷市406.56と充実。一般病床が1,000を超える大規模総合病院も複数。

※令和6年2月末時点
(出典：日本医師会ホームページ)



《子どもの医療費無料》

中学生以下の
通院・入院費が

0円

(保険適用分に限り)



《学童保育が充実》

全小学校区で
学童保育を整備

小学校62校

高校・大学も
市内にあり



《ショッピング施設》

スーパー 95店舗

コンビニ 210店舗

※令和6年3月時点





《物価は安め》

岡山県の物価指数

97.8
(全国平均100)

※出典：令和3年
小売物価統計調査



《家賃》

東京都市部の

60~70%



駅から徒歩10分圏内の家賃相場は、
1LDKで5~6万円、2LDKで6万円程度、
3LDKで8万円程度が目安です

《車の普及台数》

1世帯あたり

岡山県 1.349 台
(全国平均1.032台)

(自動車検査
登録情報協会調べ)
※令和4年3月末



《高い求人倍率》

有効求人倍率

1.66 倍



※令和5年12月時点

全国平均の1.27を上回り、幅広い職種
からの求人があります

《アクセス》

【+岡山空港】※無料駐車場あり

JR倉敷駅からバスで約 35 分

国内線：東京(羽田)まで

1時間 20 分(1日10往復)

札幌(新千歳)まで

2時間(1日1往復)

沖縄(那覇)まで

2時間 10 分(1日1往復)

【+JR倉敷駅】

JR岡山駅まで 17 分

\\ JR岡山駅より新幹線で /

JR東京駅まで 3 時間 15 分

JR新大阪駅まで 45 分

JR博多駅まで 1 時間 50 分



《特産品》

●マスカット・オブ・アレキサンドリア(加温)

●ピオーネ



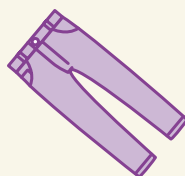
●白桃



●スイートピー



●ジーンズ



●帆布



●竹製品



●マスキングテープ



●倉敷ガラス



移住者インタビュー

東京暮らしへの違和感から、 佳奈さんの妊娠をきっかけに倉敷へ

井上 大輔 さん・佳奈 さん (2019年 東京から移住)

《プロフィール》

大輔さんは東京で勤めていたIT関連の会社で、フルリモートによる“職を変えない移住”を実現（現在は転職し、引き続きフルリモートで勤務中）。佳奈さんは移住・出産を機に勤めていた雑貨店を退職。以前から続けていた倉敷帆布を使ったハンドメイド作家としての活動を本格化させている。

「倉敷に来て、暮らしが便利になりました」と語ってくれた井上夫妻。岡山市出身の大輔さんと兵庫県出身の佳奈さんは、仕事の都合で移り住んだ東京で結婚。しかし、ずっと東京で暮らすことへの違和感から、佳奈さんの妊娠を機に移住を決断した。

「生活に必要な機能も遊ぶ場所も近い場所にギュッとまとまっている。以前、倉敷に5年ほど住んでいたのですが、住みやすい印象があったので移住先に選びました。結果的に、とても利便性が上がったと感じます。それに、互いの実家が近くなったので、子どもの成長を両親に間近で見せられていることもよかった点ですね（大輔さん）」

「病院や保育施設が生活圏内に十分揃っていますし、近くに頼れる人がいることもあって安心して子育てができています。延長保育を利用して、仕事も早く再開することができました。

実は倉敷に来たことは仕事にもプラスになっているんですよ。私は

好きなものに囲まれて心地よく暮らす 倉敷で見つけた等身大の幸せ

佐藤 文子 さん (2020年 東京から移住)

《プロフィール》

秋田県生まれ、千葉県育ち。都内の大手PR会社で順調にキャリアを積んでいたが、たまたま訪れた児島の風景に魅せられ、滞在中に移住を決意。その場で転職活動をはじめ、2か月後には仕事も住まいも倉敷に移した。現在は、インナーウェアを中心とした倉敷発のアパレルブランド「くらしきぬ」の広報として活躍中。

「瀬戸内の海って毎日色が変わるから、本当に飽きないんです。特に王子が岳山頂から見景色が素晴らしく、モヤモヤした心もスーッと晴れていきます。この海に一目惚れして、移住を決めました」

それまで都内の大手PR会社で勤めて順調にキャリアを重ねていたが、コロナ禍で働き方が変わったことで心身ともに疲弊し、「瀬戸内海に癒されたい!」と倉敷へ。児島の景色と集う人にすっかり魅せられた佐藤さんは、約1週間の滞在中に就職活動をはじめ、2か月後には新しい暮らしを始めるスピード移住を敢行。現在は素材にこだわった倉敷発のアパレルブランド「くらしきぬ」の広報を務めている。「以前は代理店という立場で、自分がいいと思えないものでもおすすめしなくてはいけなかった。でも今は“お客様に自分がいいと思えるものを届けたい”という思いで働く人たちのなかで、自身も心からお客様に商品をおすすめできている。こんなにも自分

何でもある、だから楽しい 倉敷で叶える、理想の仕事と子育て

稲葉 剛 さん (2021年 東京から移住)

《プロフィール》

栃木県出身。東京の大手ゲーム制作会社に勤務していたが、より良い子育て環境を求めて移住を決意。妻の実家に行きやすく、気候もよい岡山に狙いを絞り、児島にその地を定めた。現在は児島にて雑貨&カフェのお店を2店舗経営。好きな仕事に邁進しながら、倉敷での子育てを楽しんでいる。

以前は通勤ラッシュのなか、都心まで1時間かけて通っていたという稲葉さん。「今は店から家まで5分ほど。自分の店を持ったことで時間の融通もきくようになり、家族と一緒に過ごす時間が増えました」と、うれしそうな表情が印象的だ。

自然がすぐ近くにある倉敷では、子どもを海や山に連れていく機会も増えたそう。近隣の鴻八幡宮や大島公園近くの海岸がお気に入りとのことで「東京では子どもを連れて海に行くのは大仕事ですが、児島だと散歩ついでで行けるから、すごく贅沢な環境だなあっていつも思います」と語る。

稲葉さんが移住を考え始めたのは、1人目の子どもが生まれた頃。よりよい子育て環境を求めてさまざまな土地を旅行がてら訪れ、海の色や美しさや街に漂うモノづくりの雰囲気や惹かれて児島を選んだ。「それに僕、田舎の出身なので田舎暮らしがしたいわけじゃなくて。倉敷は自然や人の距離感がちょうどいい、バランスの取れ

帆布を使ったオリジナルバッグの制作・販売を行っているのですが、倉敷は端切れの種類も豊富で安く手に入るの、で、どんどんアイデアが湧いてくる。モノづくりが盛んな場所だから、価値観の近いクリエイターとも出会えて、活動の幅がぐんと広がりました（佳奈さん）

そんな井上さん一家は現在、倉敷駅の近くに一軒家を構えている。子どもが遊べるスペースを確保したうえで、フルリモートで働く大輔さんの書斎や、佳奈さんの作業部屋も作った。「これも倉敷だからできたこと。東京で同じことをやろうとしても予算的に厳しいですね（大輔さん）」。

妊娠・出産、新築、転職、コロナ禍……倉敷に来てさまざまな変化を経験した井上さん夫妻だが、倉敷という基盤があったからこそ安心して変わることができたという。これから起こる変化も、倉敷でなら乗り越えていける。そんな覚悟が感じられた。



にフィットした仕事に出会えて、すごくラッキーだなと思います」

「倉敷に来て大正解！自分の直感を信じていいんだ、という自信もつきました」と語る佐藤さん。「東京は新しいものが溢れていて刺激もあって、それはそれですごく楽しかったけれど、自分に本当に必要なものがわかっていなかった。倉敷に来て、本当に必要なものを選び、大切に使うことの幸せを知りました」。与えられるものを消費することに精一杯だった頃より、自分で好きなものや楽しいことを選び取る生活は、等身大で心地よいそうだ。「そして、そういう“自分がいいと思えるもの”を信じて心地よい場所を生み出している友人もたくさんで、その姿を本当にかっこいいな、と尊敬しています。今度は自分がそういう、誰かの止まり木になれるような場所を作れたら、すごく楽しそうだなと思っています」



た街だと感じました」

移住と同時に起業したこともあり、当初はかなり慌しかったそう。特に長男は小学2年次からの転入になったため、不安も大きかったのではないかと振り返る。しかし今では友達もたくさんで、鴻八幡宮の例大祭「だんじり祭り」で、しゃぎり（県の重要無形民俗文化財にも指定されているお囃子の一種）を担当。稲葉さんも交通整理ボランティアで参加するなど、地域の一員として溶け込んでいる。

2023年春には2店舗目のカフェをオープン。「仕事は忙しくなってきましたが、好きなことに遠慮なく突き進めるのも倉敷に来てよかったことですね」

子育てにより環境を求めた結果、自分にとっても居心地のよい場所を見つけることができた稲葉さん。3人の子育ても、店の経営もまだまだこれから。倉敷でどんな暮らしを紡いでいくのか、楽しみは尽きない。

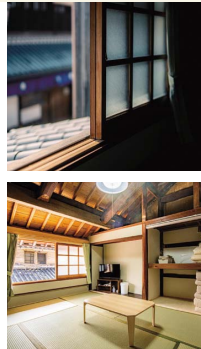


お試し住宅

市内に2か所の「お試し住宅」をご用意しています。倉敷での暮らしを実際に体験してみてください！



海暮らし



〔基本情報〕岡山県倉敷市下津井1-8-6

駐車場：有り 総部屋数：2室

〔利用条件〕1. 岡山県外在住の方で、倉敷市（特に児島地区）への移住を検討されている方／下津井エリアに興味・関心のある方

2. 滞在中に「体験プログラム」をご利用いただける方

3. ご利用後、アンケートにお答えいただける方

〔利用人数〕1～4名（小学生以下は0.5人で換算）

※布団の用意は3組までです。

〔利用期間〕2泊以上14泊以内（利用初日は、平日に限ります。）

〔利用料金〕1室1泊あたり1,000円（税込）※自転車利用料として

〔設備・備品〕Wi-Fi環境・電動アシスト自転車・エアコン・洗濯機・冷蔵庫・IH調理器・電子レンジ・炊飯器・掃除機・テレビ・ドライヤー・調理器具・掃除用具・ポット など

せとうち古民家お試し住宅

地元で親しまれてきた豆腐店の建物を、お試し住宅としてリノベーション。古民家に滞在しながら海のある生活が体験できます。体験プログラムなどを通して地元の方や先輩移住者の「生」の声を聞いてみてください。



詳細な利用条件や空き情報、申請方法などは、ホームページをご覧ください。

職人の技術を活かして
古民家を再生。
お試し住宅で人をつなぐ

「なんば建築工房」

正田 順也さん・長谷川 達也さん



江戸時代に港町として栄えた下津井は、近年、急速に高齢化や過疎化が進み、当時の面影を残す歴史的な建築物さえも失いつつある。創業130年を超える地元の工務店「なんば建築工房」の5代目である正田さんは、職人の技術と知恵を活かし、それらを後世に残す活動を行ってきた。

そんな正田さんを含む有志3人が立ち上げた「下津井 sea village project」は、下津井地区の活性化に向け、多面的な取り組みを展開。地域の観光振興や空き家対策、移住者の受け入れも行っている。このプロジェクトをきっかけに移住したひとりが、埼玉県出身の長谷川さんだ。倉敷市のお試し住宅を1週間利用。「下津井の魅力は人。お節介がうれしい」と魅了され、「なんば建築工房」の一員となった。

2023年に下津井にオープンしたお試し住宅は、古民家ならではの趣を残しながら、快適に過ごせる設備を整える。「お試し住宅は地域の魅力を知ることのできるデバイスのスペース。下津井は、地域のために何かしたい人にしっかりとフィールドが用意された、チャンスのある地域だと思います。お試し住宅を活用して、下津井で新たな一歩を踏み出してほしいですね」と、正田さん。これからも町の活性化に、力を注いでいく。



街暮らし



〔基本情報〕岡山県倉敷市玉島1962-11 倉敷ライフ・キャンパス内（JR新倉敷駅まで徒歩約12分）

駐車場：有り 総部屋数：6室

〔利用条件〕倉敷市及び高梁川流域自治体への移住を検討されている方

〔利用人数〕2.5名（小学生以下は0.5人で換算）

〔利用期間〕2泊3日から29泊30日まで（利用初日は、平日に限ります。）

〔利用料金〕1室1泊あたり1,000円（税込）※自転車利用料として

〔設備・備品〕Wi-Fi環境・自転車・エアコン・洗濯機・冷蔵庫・IH調理器・電子レンジ・炊飯器・掃除機・テレビ・ドライヤー・物干しパラソル・テレワーク用デスク・椅子 など

倉敷・流域お試し住宅

JR新倉敷駅から徒歩約12分。すぐ近くに大型スーパーや飲食店、コンビニや銀行、医療機関などもあり、倉敷市街地での暮らしを体験できます。高梁川流域圏10市町村*への移住を検討されている方がご利用可能です。

※倉敷市・新見市・高梁市・総社市・早島町・矢掛町・井原市・浅口市・里庄町・笠岡市



事前に空き状況をお問い合わせください。詳細な利用条件や申請方法などは、ホームページをご覧ください。

交通費の補助が受けられます！

「採用面接」や「住居探し」の交通費助成（東京圏・大阪圏在住者対象）

東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）・大阪圏（大阪府、京都府、奈良県、兵庫県）に在住で、倉敷市へ移住を希望する方（移住又は、二地域居住を希望している方）が、市内で「採用面接」や「住居探し」の移住活動を行う場合に必要な交通費の一部を補助します。

交付金額

「採用面接」や「住居探し」にかかる
交通費の半額（1,000円未満は切り捨て）

上限

東京圏に在住：16,000円
大阪圏に在住：6,000円

※交付には条件があります。詳しくは、倉敷市ホームページをご覧ください。



移住に関するサポート

倉敷市では、移住に関するさまざまなサポートを行なっています。

支援金

1. 移住支援金（東京23区在住・在勤者対象）

東京圏から倉敷市内へ移住・定住し、かつ岡山県が行う就労のマッチングサイトに移住支援金の対象として掲載する求人に就業した方、テレワークにより移住した方、お試し住宅等を利用した方で県内企業へ就職または起業した方等に、移住支援金を交付します。

2人以上の世帯	100万円	さらに	2人以上の子育て世代（18歳未満の子）には
単身世帯	60万円	2人目以降につき	30万円を加算

2. テレワーク移住支援補助金

岡山県外から倉敷市内へ移住し、テレワークにより引き続き転入前の業務を継続する方を対象に、引越費用や住宅に係る費用・テレワーク環境整備にかかる費用を一部補助します。

単身世帯での移住の場合	上限20万円	2人以上の世帯での移住の場合	上限30万円
-------------	--------	----------------	--------

3. 暮らしき移住者応援補助金

岡山県外から倉敷市内へ移住し、特定分野で起業（一部新規就職）した方を対象に最大3年にわたって補助金を交付します。

転入した日から…	①1年以内 10万円	②1年以上2年以内 10万円	③2年以上3年以内 10万円
総支給額	最大30万円	※1年度1回の支給になります。 ※①の支給を受けないと、 ②、③の支給は受けることができません。	

詳しくはホームページをご覧ください。



暮らしき移住就労サポートデスク

オンライン
面談OK

移住検討者等を対象とした、就労支援の窓口を設置。「倉敷に住んでみたい」「倉敷で働きたい」「これまでのキャリアを倉敷で生かしたい」と考えている方のサポートを、無料で行っています。

【主なサポート内容】

1. 倉敷市内の求人を紹介

お仕事のリストアップや条件交渉、面接セッティングなど、企業との橋渡しを行います。

2. 応募書類の添削／アドバイス

応募書類のチェックから、企業とのマッチ度合いを高めるアドバイスを、専門アドバイザーが個別に行います。

3. 就職後のフォロー

就職先の決定後も、引っ越しや職場に慣れるまでのサポートを行います。

4. 住まいの相談／移住支援制度の相談

ご希望に合わせて、住みやすい地域や物件のご相談、倉敷市の移住支援制度についてなどのご相談を承ります。

詳しくはホームページをご覧ください。



起業支援

暮らしきで、あなたの“やりたい”を形に

「倉敷市で事業を興したい」「新しい店を開きたい」。そんな方に向けて、準備から創業後まで、きめ細かな支援を行なっています。

●暮らしき創業サポートセンター

身近な相談窓口として、倉敷で創業したいという思いを持つ人をサポート。無料の創業相談をはじめ、創業の知識を学べる「起業塾」やノウハウを聞ける「講演会」、創業したてのお店をPRする「創業展示会」などを実施しています。

●暮らしきベンチャーオフィス

倉敷市が運営する創業支援施設。オフィスの貸出や専任マネージャーによる創業支援が受けられます。

●児島産業振興センター デザイナーズインキュベーション

児島産業振興センターは、地場産業である繊維産業を多角的にサポートする施設。1階にある「デザイナーズインキュベーション」では、デザイナーを目指す人の起業・創業を支援しています。

●倉敷市中小企業向け融資制度

経営の安定と設備の近代化や合理化を図るために必要な資金を融資する制度です。新たに事業を始められる方は「創業等支援資金」を受けられます。

創業支援・融資制度について、詳しくはこちらをご覧ください。

倉敷市商工課：086-426-3405



就農支援

恵まれた気候のもとで新規就農をサポート

瀬戸内の温暖な気候に恵まれた倉敷は、新規就農にも適した土地。移住と同時に新規就農を目指す方にも支援を行っています。特に、桃・ブドウ・花き（スイートピー）の3品目について、積極的に研修生を受け入れています。

●農業次世代人材投資資金（準備型）

農業体験研修・農業実務研修を行う制度があります。約2年間にわたって研修を受講することができます。

●農業次世代人材投資資金（経営開始型）

農業実務研修を受けずに独立・自立就農する（した）場合、最大5年間経営リスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでを支援する制度です。

●就業奨励金支給事業

倉敷市内において、将来にわたり専業として農業・経営を続けていくとする39歳以下の方に奨励金を支給します。

そのほか、新規就農希望者への支援については、こちらをご覧ください。

倉敷市農林水産課：086-426-3425



倉敷市 各エリアの

“特長”



船穂・真備地区

自然豊かな穏やかな地域で、農産物の生産が盛んです。船穂地区は大型ショッピングセンターにほど近く、買い物に便利。真備地区は井原鉄道が走り、岡山・倉敷へのアクセスが良好です。

▼エリアの魅力▼

ワイナリー・推理小説



倉敷地区

倉敷駅周辺にはデパート・アウトレットモール・商店街が、郊外には大型ショッピングセンターがあり買い物に特に便利なエリア。全国的に有名な倉敷美観地区もあります。

▼エリアの魅力▼

倉敷美観地区



玉島地区

古くからある商店街や、ドラム缶でできた橋など昭和レトロな風景が残っていて、フォトジェニックな場所が多くあります。北部では白桃の栽培が盛んで、春には桃の花の見頃をむかえます。

▼エリアの魅力▼

ノスタルジックな商店街



水島地区

自動車や鉄鋼などの製造業を支える西日本有数の工業地帯があるエリア。一方、良質な土壌と水に恵まれ、レンコンやごぼうなど農産物の生産も盛んです。また、市内最大のスポーツ施設があります。

▼エリアの魅力▼

工業地帯の夜景



児島地区

瀬戸内海を望む海沿いが中心のエリア。JR児島駅からは岡山方面にも四国方面にもアクセスがよく、交通の利便性に優れています。繊維産業が盛んで国産ジーンズ発祥の地です。

▼エリアの魅力▼

瀬戸大橋



日本遺産
倉敷市

【倉敷市が誇る日本遺産ストーリー】

◎一輪の綿花から始まる倉敷物語～和と洋が織りなす繊維のまち～

◎荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～

◎「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～



倉敷市役所くらしき移住定住推進室

〒710-8565 岡山県倉敷市西中新田640

《E-mail》iju@city.kurashiki.okayama.jp 《TEL》086-426-3153 《FAX》086-426-5131

倉敷市移住定住ポータルサイト
「くらしきで暮らす」



公式Instagram



公式Youtubeチャンネル

